

自然環境観察情報員プロジェクト

～重点プロジェクト1 育てよう、いろんな生物がいる自然！～

自然を守り、多様な生き物が生育・生息できる豊かな自然と共生する環境づくりをめざすために、年間を通じて身近な生物や植物の状況調査を行い、西東京市の自然環境を把握する。市民が日頃から自然に目を向ける機会を創出し、身近な自然環境への関心を高める。

1 参加者

公募による自然観察情報員。参加は随時可能とする。

2 実施内容

- ・自然観察情報員は、身近な自然環境に関する情報を報告する。
- ・1年を通じて自然環境に関する情報を募集するが、定期的にテーマを設定し依頼することで、事業への認知度を高める。(テーマの例：サクラ、アジサイ、紅葉、ツバキなど)
- ・募集期間中は一人何度でも情報提供できるようにし、積極的に参加した情報員を表彰する。

3 調査方法

情報員に対しては、登録するメールアドレスに配信するほか、随時、市ホームページやフェイスブックでも募集内容を掲載する。あわせて自然関係の活動をしている市民団体、エコプラザ西東京登録団体等にも参加を依頼する。

情報は、1. 見つけた植物(の変化)や生き物 2. 場所(市内) 3. 写真(任意) 4. コメントを環境保全課のメールアドレスやホームページの機能を利用して収集する。

4 効果検証

本協議会で評価し、調査結果の検討や来年度以降の調査の規模などの検証を行う。

5 報告方法

- ・市ホームページ等で自然環境の情報、見頃情報などを発信する。
- ・市内観察マップを作成する(自然のあるところなどのポイントを把握する)

エコライフ推進プロジェクト

～重点プロジェクト3 進めよう、地球温暖化対策！～

地球温暖化対策を進めるためには、市民や事業者の一つひとつの行動が重要であり、それらを日常生活や事業活動の中で取り組むことが必要である。市民のエコライフを推進するために、どのような生活が効果的であるのか検証する。

1 参加者

- ・西東京市内に1年以上在住の世帯（取組前後のエネルギー使用量を比較するため）
- ・電気・ガス・水道等のエネルギー使用量を市に報告できる世帯

2 実施内容

(1) 省エネや環境に配慮した行動を生活に取り入れたことによる効果を集計する。

参加者は電気、ガス、水道の使用量やガソリン、軽油、灯油等の燃料使用量を報告する。エネルギー使用実績の報告と併せて、環境家計簿の活用、省エネで気をつけていることや感想などアンケート形式でエコライフ調査を行う。

また、省エネ効果が大きかった参加者について表彰する。

(2) 助成金制度を活用した省エネルギー実践

平成28年度の地球温暖化対策設備導入の助成金を交付した市民等に対しアンケート調査を行い、省エネに関する意識調査や省エネ設備導入のエネルギー使用状況を集計する。

3 支援内容（市が参加者に対する支援）

- ・対象地区のエネルギー消費量の集計
- ・二酸化炭素排出量の見える化
- ・取組を支援するための先進事例の紹介
- ・省エネアドバイザーの派遣（東京都の事業の活用）

4 効果検証

本協議会で評価し、来年度以降の水平展開の可能性や、改善点などの検証を行う。

参加者の
省エネの実践

推進協議会での
評価検証

5 検証後の展開

- ・市報やHPに公表する
- ・検証結果を踏まえ、プロジェクトの拡大を検討する

市としての方針決定
新たな取組方向の検討